



講座担当からご紹介!

# 夏秋の講座

早稲田大学エクステンションセンターでは、この夏・秋に早稲田校で253講座、八丁堀校で298講座の計551講座を開講予定です。その一部を担当講師と企画担当者からのメッセージとともにご紹介します。



※各講座の詳細情報は、ホームページまたは講座案内パンフレットでご確認ください。はじめてお申込みをされる方は、お申込み前に「入会・受講規約」を必ずお読みください。

校舎	ジャンル	講座名	講師・肩書き	パンフレット掲載ページ	企画担当者からのおすすめポイント
早稲田校	文学の心	昭和文学の面白さ、 『伊豆の踊子』 『大和路』『津軽』 <b>Pick Up</b> 次ページで説明	中島 国彦 早稲田大学 教授	➡ 22	川端康成『伊豆の踊子』、堀辰雄『大和路』、太宰治『津軽』といった昭和時代の名作に触れることのできる講座です。「言葉で描かれた心理」「言葉で描かれた風景」という二つの側面から作品を分析していきます。
	日本の歴史と文化	音楽からみる 日本文化史Part1 —古代から中世まで—	田中 健次 茨城大学教授	➡ 30	充実した資料をもとに講義を進めていきます。日本の歴史・文化を音楽から見つめ直していきます。初めての方でも理解しやすい授業です。 ※2009年度秋講座に開講した「探訪日本音楽の世界」の古代から中世までの時代を改めて扱う内容です。
	人間の探求	哲学を学ぶとは ということか	高橋 章仁 早稲田大学 講師	➡ 57	初めて哲学を学ぶ方、もう一度はじめて学びたい方を対象とした講座です。高橋先生は2009年冬に「実存思想を読み解く」で初めてオープンカレッジをご担当。「分かりやすい講義」「質問にも丁寧に答えていただける」と評判でした。哲学者たちが何を考えていたのか、深く考えることはということなのか、高橋先生と追体験してみませんか。
八丁堀校	江戸・東京	江戸の歴史 <b>Pick Up</b> 次ページで説明	深谷 克己 早稲田大学 名誉教授ほか	➡ 23	江戸時代の中でも特に「江戸」に焦点をあて、初期・中期・後期・末期の順に歴史を学ぶ、5名の講師による春秋開講オムニバス講座です。様々なテーマで江戸をご紹介しますので、どなたでも楽しんで学習いただけます。
	心と身体のケア	ピラティス エクササイズ入門 —体の奥から引き締まる オーダーメイドの体づくり—	小玉 美恵子 ピラティス トレーナー	➡ 41 45	元々は第一次世界大戦の負傷兵のリハビリプログラムであったピラティス。体幹である深層筋を鍛え代謝を上げ、姿勢を良くします。主に筋肉の使い方のトレーニングで、ゆったりとした動きと少ない負荷で体の奥から美しい体を作ります。
八丁堀校	総合	近代日本の人物 —人物を通して 時代を見る—	佐藤 能丸 早稲田大学 講師	➡ 62	ある人物を検討することによって、その人物が生きた時代の背景を追っていきます。今回は明治中期から後期の人物（板垣退助・陸羯南など）を取り上げていきます。人物の裏話などを盛り込んだ熱意溢れる講義は必見です。
	ビジネス	産業財 (B to B) マーケティング ベーシック I & II	笠原 英一 立教大学 大学院教授 ほか	➡ 78 79	全市場の中で最も大きな取引が行われる企業向けの市場、産業財市場で成功するために必要なマーケティングの知識を理解し、実務に役立たせることを目標とします。Iでは基本となるフレームを、IIでは顧客との接点に焦点をあてます。

Pick Up

早稲田校

Wasuda campus

## 『伊豆の踊子』『大和路』『津軽』

●中島国彦先生(早稲田大学教授)

春講座が始まってしばらくたった頃、秋講座で扱う作品をイメージしながら、今度はどういう組み合わせにしたらよいだろうと考えます。楽しい悩みですが、受講生の皆さんに少しでも興味を持っていただける作品を手に入



りやすい文庫本にあるものの中から新しく探すのは、思った以上に大変です。半年ごとに、明治・大正・昭和の作品と順に変えて来ていますが、昭和の作品を扱う順番の今年の秋講座には、平城遷都千三百年にちなみ、まず堀辰

雄『大和路』を決めました。なつかしい「浄瑠璃寺の春」は、その中の一篇です。川端康成『伊豆の踊子』、さらに太宰治『津軽』と選んで来て、どれもが地方の自然や景物を背景にした名作であることに改めて気付きます。昭和文学の一つの流れが、おのずとたどれることになるでしょう。

日本の近代の名作を、「言葉で描かれた心理」「言葉で描かれた風景」という二つの視点から読み直しています。親しんで来た名作でも、こんな風に新しく読めるのだという体験を、毎時間実感していただければ幸いです。

Pick Up

八丁堀校

Hachiohori campus

## 江戸の歴史

●深谷克己先生(早稲田大学名誉教授)

今の世相に息苦しさを覚えることもあってか近年、江戸の世相に興味を持つ人が増えてきました。リサイクルとかエコロジーとか両隣りの付き合いなどが、その場合の江戸イメージですが、実際はどうだったのでしょうか。

本講座では、江戸時代ではなく「江戸」(第二次大戦前の一五区時代の広さ)の歴史を十回で学びます。オムニバス形式で五人の講師の持ち味を生かし、多様なテーマを切り口にして、江戸社会の様子を浮きぼりにし、受講



者に江戸イメージをふくらませるきっかけを提供します。秋講座で取りあげる話題は、江戸に出入りする民衆参勤の大名・家臣、オランダ人・朝鮮人・琉球人などの外国人、京都朝廷からの使者、牢人(浪人)たち、大名屋敷、書物や情報の管理、漢籍輸入、女性の教養や漢詩人、木材の需要と貯木、掘割(運河)と深川情緒、幕末の浪士組と新徴組、「お台場」築造、幕末の江戸打ちこわし(米価・諸物価)などです。ご期待ください。

## 受講生の声

今回ご紹介したおすすめ講座の中には、前年度から引き続き開講されている講座もありました(一部テーマ変更あり)。前年度に受講された皆様からの声を一部ご紹介いたします。

### 音楽からみる日本文化史 Part 1

●田中健次先生  
盛りだくさんの内容をわかりやすく講義していただき、日本の音楽史の全体像がハッキリと体系的に深く理解できました。資料・映像等の活用が効果的に感じました。

### 哲学を学ぶとはどういうことか

●高橋章仁先生  
聞かせる、という話術が巧い先生でした。難しい内容でしたが、説明がわかりやすく、質問への回答が明確で理解しやすかったです。先生の熱意を感じました。

### 近代日本の人物

●佐藤能丸先生  
講師の深い知識と上手な話し方を通じて、今までに余り知られていない人達の偉業について、自分の知識を深めることができました。講師の熱意と愛情がほとばしり出ていて、時に講義を聞いている様で授業が楽しく毎回アツ!という間でした。